

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

SMFG India Credit Company Limited（証券コード：-）

【新規】

外貨建長期発行体格付
格付の見通し

AA-
安定的

■格付事由

- SMFG India Credit Company Limited (SMICC) は大手総合金融グループである SMBC グループのノンバンク。三井住友フィナンシャルグループ (SMFG) の連結子会社であり、インドにおいて主に個人向け融資を手掛ける。格付は、SMFG による支配・関与度やグループにおける経営的重要度を踏まえ、SMBC グループのグループ信用力「AA」相当の1ノッチ下の「AA-」と判断した。グループ信用力は、三井住友銀行や SMBC 日興証券などを擁する大手総合金融グループとしての堅固な事業基盤、良質な資産の質と資本水準などを反映している。
- SMFG は SMICC の議決権の 100%を保有し、取締役を 2 名派遣している。経営の意思決定にかかる SMICC の裁量は比較的大きいものの、SMICC に対する SMFG の支配・関与度は相応に強い。SMICC はインドにおける金融包摂の促進や低所得層の社会的自立を支援するなど戦略的意義を有し、SMFG が注力しているアジアのマルチフランチャイズ戦略の中核であることから、SMFG における経営的重要度は高い。SMFG は SMICC に対してローンの手当てや増資に応じるなど、資金調達や資本面での支援は手厚い。
- インド経済は高成長が続き、2023 年に世界第 5 位の経済規模となった。個人消費の拡大や生活水準の向上により個人の資金需要は増加しており、インドにおける消費者信用市場は急拡大している。市場の拡大スピードが速いことから、インド準備銀行（中央銀行）は、商業銀行およびノンバンクにおける個人向けローン（一部の資金用途を除く）のリスクウェイトを引き上げる措置を講じるなど、規制を強化している。
- 国内市場の拡大や SMFG の支援を受け、SMICC の事業規模は大きく成長している。24/3 期の連結営業収益は 808 億印ルピーと、前期の 571 億印ルピーから 41%の大幅増収となったが、与信関係費用の増加により連結税引前利益は 91 億印ルピーと前期比で 4%の減益となった。インド全域に拠点を構え、24/3 期末の貸出残高は 4,200 億印ルピー（約 7,600 億円）、与信は小口分散しており、不動産などにより保全されている貸出の割合は約 5 割となっている。不良債権比率はネットで 1.6%と比較的良好な水準にある。
- 金利リスク、流動性リスクは各リスク管理委員会を通じて適切に管理されている。24/3 期末の自己資本比率は 17.3%と、国内規制で要求される 15%を上回る水準を確保している。事業の急成長に伴い、貸出資産の拡大ペースが利益による自己資本の積み上げペースを上回っていることから、自然体では自己資本比率が低下していくと見込まれる。他方、SMICC では貸出資金を主に外部調達に依存する性格上、財務の健全性を維持して調達コストを抑制していくことが求められる。そのため、SMICC 自身だけでなく、親会社である SMFG にとっても SMICC の財務を健全に保つ強い動機がある。SMFG による SMICC 支援の蓋然性は高く、SMFG による追加出資を見込めることから、財務の健全性は今後も維持されていくと JCR ではみている。

（担当）増田 篤・伊藤 信太郎

■格付対象

発行体： SMFG India Credit Company Limited

【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年12月4日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「消費者金融」(2022年6月21日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) SMFG India Credit Company Limited
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル